



日本共産党 荒川区議会議員

Japanese Communist Party

# 横山幸次 区政通信

E-mail:kouji.office@gmail.com

874 2023年9月10日  
日本共産党荒川区議会議員団  
区役所控室 3802-4627  
横山事務所  
荒川区町屋5-3-5  
&fax 3895-0504

定例法律相談  
10月2日(月)  
18時~20時  
横山区議事務所  
お気軽にご相談を



荒川区議会9月会議(決算議会)がはじまります(9/12~10/11)

## 荒川区 2022年度は51億円の黒字決算 物価・エネルギー高騰などくらし応援へ



9月12日から10月11日の予定で9月会議が開催されます。22日(金)からは昨年度の決算状況を審査する決算委員会も始まります。  
荒川区の2022年度決算は、一般会計黒字分51億円と特別会計繰入金51億円の返還金を加え約52億円を基金に積み立てます。昨年度と合わせて100億円以上です。日本共産党は6月議会で特別支援学校の給食費無償化など総額2500万の増額補正予算を提案(右下囲み)。この黒字分の(剰余金)ごく一部を回せば、くらし応援が出来たはずですが、住民福祉の増進・くらし応援を最優先に、今後の学校や公共施設の大規模改修や建替えに多額のお金が必要と基金積立を進めています。そのため区民の福祉や教育などに影響が出ることは許されま

**決算にみる区財政**  
今回の決算は、51億円の剰余金(使い残り)を出しています。調べると民生費(介護、福祉、保育など)で27億円を使い残しています。なぜそうなったのか、決算審議など通じて検証していきます。(下表参照)

**9月会議日本共産党一般質問**  
**横山幸次区議**(9月12日 午後)  
学童クラブ運営と公の役割について  
第9期高齢者プランについて  
地域公共交通の構築について  
区の基金積立について  
**相馬ゆう子区議**(9月13日)  
耐震化・老朽空き家除去促進  
買い物・交通対策など  
夏休みなどの学童クラブなど希望する子どもの給食提供  
...について本会議質問を行う予定です。  
ぜひ傍聴にお出かけください。

6月会議での共産党の提案  
都立支援学校・ろう盲学校に  
児童生徒の給食費補助(無償化)  
予算額:合計832万円  
家庭的認可保育園の定員割れ補助  
予算額:88万3千円  
在宅酸素電気代補助  
予算額:108万円  
高齢者障害者エアコン購入助成  
予算額:500万円



9月区議会の予定  
9月12日(火)9:30~全員協議会 10:00~本会議(各会派質問)  
13日(水)10:00~本会議(各会派質問)  
19日(火)10:00~総務企画委員会、福祉区民生活委員会  
20日(水)10:00~文教子育て支援委員会、建設環境委員会  
10月10日(火)10:00~幹事長会 11:00~議会運営委員会  
11日(水)9:30~全員協議会 10:00~本会議  
(決算特別委員会は9月22日から開かれる予定 7日間)

2022年度決算民生費不用額	
高齢者福祉	4億1500万
障害者福祉	2億8600万
保育園費	3億8200万
児童措置費	6億5600万
家庭福祉費	1億7300万
保護費	7億8700万

区財政 一般会計(決算ベース) :千円			
	歳入決算	歳出決算	剰余金
2022年度	114,717,727	109,546,545	5,118,769
2021年度	112,983,666	108,027,961	4,904,272
2020年度	124,308,169	121,970,242	2,251,415

### 「町屋さくら復活・移動の自由保障を考える」…9月議会…横山区議質問…問われる区の姿勢

今回、町屋さくら復活について質問を準備する中で、考えたことは、台東区と荒川区の姿勢がなぜこうも違うのかということです。あらゆる面で、同じ規模の区です。荒川区は、「運行経費の赤字補てんはしない」「交通不便地域はない」とコミバス廃止を容認。台東区は、2億数千円もの区費を投じてコミバス維持、拡大、そして細かな住民要望を取り入れて改善しています。さらにそれでも足りない分は、別の移動手段を検討する…。やはり住民の困ったに「しっかり耳を傾ける」事ができるか否かだと感じました、「赤字補てんはしない」に固執して住民の切実な願いに背を向ける荒川区...これは、地方自治体の姿勢としては失格です。(横山幸次)



**まちの話あれこれ**  
**尾久の原公園…いまサルスベリの花が満開!**  
**そして湿地进行のぞむテラスに一人用ベンチ?**  
猛暑が続く、台風も接近。今年は、大変な夏となりました。暑さで尾久の原公園にもほとんど足を運んでいませんでした。最近立ち寄りしてみると、サルスベリ(百日紅)が、淡い赤色の花を咲かせていました。7月から9月にかけて咲くようですが、季節を感じさせます。そこで目に入ったのが、湿地を望むテラスに一人用のベンチが6つ設置されていました。ちょっと違和感を感した風景…。  
横山幸次



# 保育の あやかた

# 区立南千住保育園(指定管理)で「不適切保育」 あらためて問われる保育の質…ガイドライン策定を



区立南千住保育園(上智社会事業団運営)の4才児クラスで、「給食を時間内に食べられなかった子はデザート抜き」「箸を落としたりは手づかみで食べさせる」など、通常では考えられない保育が行われていたことが、子どもが親に話したことで判明。保護者説明会も2回開催されました。

荒川区は、「今回の事態を重く受け止め、担任保育士を交代、巡回指導を強化し、当該園において適切な保育が行われているか確認してまいります。保育園が子どもたちにとって安全かつ安心して楽しく過ごす場となるよう、全力を尽くしてまいります」とホームページに見解を掲載。登園拒否もあったようで、カウンセラーによる心のケアも行っています。

当該保育士を保育から外して、他職場に移動したようですが、なぜ不適切保育が行われたのかなど、大本

## 区の責任を明らかにし 保育の質確保の方策を

原因の究明が必要です。保育士がゆとりを持って子どもに向き合っているでしょうか。保育士がお互いの保育内容を高めあふ研修や話し合いが出来ているの、処遇改善はどうかというのか検証が求められます。

「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」が保障される保育をみんなで確認し、実践出来るように区が責任を果たさなければなりません。

そのための荒川区の保育

## 国が一人暮らし高齢者の実態調査を実施 くらしと命を守る見守り活動、区役は…

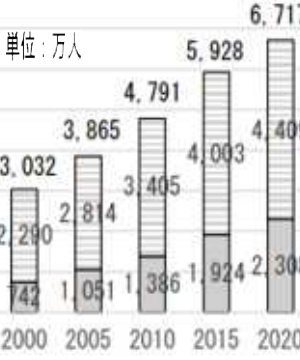
65歳以上の全国の高齢独居世帯は2020年に672万世帯となり、2000年の303万世帯から倍増しました。荒川区の場合も同じ状況です(下表)。

今回の調査は、身寄りのない高齢者が今後も増えることが確実な中で、見守り活動などとともに、入院や施設入所などの身元保証などの支援が必要な方が増えています。民間の悪質な代行事業者とのトラブルも相次いでいます。また、孤独

死などの問題もあり見守る活動は、とりわけ大きな課題です。荒川区では各地域包括支援センターに見守りステーションを設置していますが、あらためて区の実態調査を求めています。

	2020年	2000年	備考
単身高齢者数	15,281	6,964	国勢調査
高齢者人口比	30.3%	20.5%	国勢調査
高齢者人口	50,411	34,045	国勢調査

全国65歳以上一人暮らし高齢者数の推移



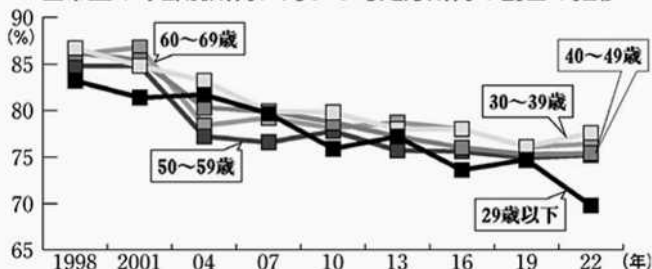
■ 男性 ■ 女性

## 今週のデータ 20歳台の可処分所得の大幅減少 正規雇用、最賃引き上げなど課題

可処分所得とは、収入のうち、税金や社会保険料などを除いた所得で、自分で自由に使える手取り収入です。給与所得者の場合は、「給与+収入金額」から「社会保険料+所得税+住民税の額」を引いたものがこれに当たり、全世代で下がり続けています。特に20代がきわめて深刻です。2001年に80%超であったのに去年69.8%で7割切っています。

正規雇用拡大、最賃1500円、奨学金返済免除など緊急課題です。

世帯主の年齢別所得に対する可処分所得の割合の推移



総務企画	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例改正 職員の特殊勤務手に関する条例改正	パートナーシップ雇っている方の扶養手当や出産・子育て休暇・死亡手当等を支給する 区職員がコロナ感染施設等で従事する場合に4000円、PCR検査の検包作業等で3000円を支給していたものを5種類に変更になったことで規定を廃止する
文教子育て	荒川区学童クラブ運営に関する条例改正 特定教育・保育施設及び特定地域型保育の運営の基準に関する条例改正	ひくらし小学童クラブの場所を変更する 子ども園の設置に関する事前協議をなくし通知のみとなり、法上の条文が削除となったために区条例の項を改定
福祉区民	荒川区学童クラブ運営に関する条例改正 特定教育・保育施設及び特定地域型保育の運営の基準に関する条例改正 児童相談所の措置費共同経理協の設置規程 荒川区旅館業法施行条例の改正 荒川区興行場法の施行条例、荒川区プール条例、荒川区手数料条例の改正 石浜ふれあい館の指定管理者の指定 東日暮里在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者の指定 荒川授産所の指定管理者の指定 尾久生活実習所及び分場の指定管理者の指定 精神障害者地域生活支援センターの指定管理の指定 障害者会館の指定管理者の指定 人権擁護委員候補の推薦に意見を求める	引き続き上智社会事業団を指定 引き続き東京都福祉事業協会を指定 児童相談所設置区(荒川・港・世田谷・中野・豊島・板橋・葛飾・江戸川)の措置費事務を8区共同で区政会館で職員を派遣して行う 事業譲渡に伴う届出や手数料の規定、感染症対策の策を盛り込む 引き続き日本メディアセンターを指定 引き続き(社)協栄会を指定 引き続きシルバー人材センターを指定 引き続き社会福祉協議会を指定 引き続きトラムあらかわを指定 引き続き社会福祉協議会を指定 榎真理子氏を推薦
本会議	2022年度一般会計決算 2022年度国民健康保険特別会計決算 2022年度後期高齢者医療特別会計決算 2022年度介護保険特別会計決算	歳入収入率94.2%・歳出執行率90%で差引残高1億1877万円 歳入収入率94.2%・歳出執行率90%で差引残高2億1850万円 歳入収入率92.2%・歳出執行率97.8%で差引残高341万円 歳入収入率97.4%・歳出執行率92.5%で差引残高7億5537万円

9月区議会に区長から提案されている議案は、左表のとおりです。補正予算や指定管理指定から昨年度の決算審査などがありますが、区民のみなさんの声をしっかりと届けます。

## 《情報コーナー》

### 荒川区高齢者用区営住宅 「空き室待ち登録者」募集が始まっています

申込期間 及び 郵送先

9月22日(金)まで(9月22日消印有効)

郵送先 〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3

荒川区福祉部福祉推進課 まで

募集案内にある申込用封筒によりご送付ください。

(申込用封筒に94円切手申込用紙に63円切手2枚が必要)

抽選日時 及び場所

10月12日(木) 午前10時 区役所3階 304会議室

(結果は、郵送及び窓口に掲示)

登録数 単身用 15人 二人世帯用 5世帯

登録期間 今年11月6日~来年11月5日

優遇区分にて申込みをされる方の登録期間の終了日は、立ち退き期限となりますのでご注意ください。